

2. 事業の目的と概要	
(1) 上位目標	ラオスにおける女性・青少年の生活向上及び経済的自立の促進
(2) 事業の必要性(背景)	<p>ラオスにおける主要な開発指標は、東南アジアでも低いレベルに留まっている。近年、首都ビエンチャンの人口は74万人に膨れ上がり、市場化(ここ数年は7%台の経済成長率)が進んでいるが、一方では経済格差(収入格差)が拡大しつつあり、この傾向は都市部のみならず郊外にも及んでいる。特に、若者の人口増加に雇用が追いつかず、未就業や失業の状態にある若者が増加しており、中等教育(中学・高校)を修了しても就職口がない者や技術をもたない基礎教育だけの修了者にとって行き場のない厳しい現実であり、このような状況が青少年の犯罪(ドラッグや売春など)の原因の一つとなっている。</p> <p>また市場経済化の進展により、日用品やガソリン等の物価高騰の影響を受けて貧困状態に陥る人が出る事も懸念されており、人々は安定した現金収入の得られる職を求めている。一方、市場経済化の進展によって、伝統的な社会では見られなかったサービス業や軽工業が発展しつつあり、この分野での職業訓練を行うことは現地のニーズに合致する。</p> <p>ビエンチャン特別市は、2008年にナーサイトン郡を職業訓練実施郡に指定し、総合職業訓練センターを建設する計画を進めている。当会は同郡の要請により第1年次予算にて、三教室と事務所からなる職業訓練センター校舎を2011年1月末に完成させ、同年2月2日から短期職業訓練を開始した。</p> <p>また、当会では2001年より、ビエンチャン特別市教育局をカウンターパートとして職業訓練コース(縫製、理美容、調理、木工家具)を提供してきた。特に2004年からは起業するに当たり必要な資機材の現地調達が可能であり、比較的少ない投資で起業が可能な縫製、理美容、調理の3分野の短期職業訓練をビエンチャン職業訓練センターで開始すると共に、カリキュラムの策定や教科書などの作成を行ってきた。</p> <p>事業開始後の第一期職業訓練では、初級レベル49名、中級レベル34名、延べ83名に対してトレーニングを実施すると共に、新規トレーナーの育成を行った。これにより、都市近郊のナーサイトン郡において、これまでと同レベルの職業訓練が十分可能と判断し、第二期職業訓練、初級レベルでは75名の訓練生受け入れを行った。</p> <p>経済的理由などから大学や専門学校への進学が困難な者や、中学校や高校を中退した者、技能がなく起業や就業が困難な女性や青少年は都市近郊にも多く、縫製、理美容、調理の技能訓練を提供することで、地域住民の生活向上及び経済的自立を支援できる。特に当地域では農業中心の生活からより収入効果の高い就労やサービス提供による収入の確保が必要とされている。</p>

<p>(3) 事業内容</p>	<p>(イ) 職業訓練の実施</p> <p>中学・高校などを中退した青少年や、中学・高校を卒業しても技能がなく起業・就業が困難な女性や青少年を対象（15～40歳）に縫製コース、理美容コース、調理コースの三分野での職業訓練を実施すると共に、地域の実情に合ったカリキュラムの改善を行う。</p> <p>各分野とも初級レベル（2ヶ月）定員各20名、中級レベル（3ヶ月）定員各16名の職業訓練を年2回開催する。当会が開発したカリキュラムに沿って訓練を実施し、初級レベル修了者でも起業・就業が可能となる。</p> <p>中級レベルでは専門性に加えてスモールビジネスマネジメントの学習も含み、より実践的なトレーニング（経営管理や会計、市場調査、接客サービス、消費者のニーズに対応するためのノウハウなど）を開催する。また、日本から専門家を招聘し、新しい訓練内容やトレーナーのレベルアップを行う。</p> <p>(ロ) 起業、就業についての支援</p> <p>職業訓練修了者に対して聞き取り調査を行い、起業支援（機材購入のサポートなど）や就業への支援（雇用者や卒業生らとのネットワークの構築）を強化する。さらに、上級レベルへの進級希望者に対しては、ビエンチャン職業訓練センター（2011年度より2カ所のOJTセンター）と連携を取り、各分野とも同センターにおいて実践訓練（On the Job Training=OJT）を可能とする。</p> <p>(ハ) 職業訓練トレーナー養成</p> <p>本事業の準備段階よりビエンチャン職業訓練センターにて職業訓練を行い、事業開始時よりトレーナーの育成を行ってきた。第2年次事業では、ナーサイトン職業訓練センターにて郡内の教職員の4名（縫製1名、理美容2名、調理1名）に職業訓練を受講させる。その後、トレーナー養成コースを開催し、トレーナー資格を取得させ、経験豊かなトレーナーと共に実践を通じて育成を行う。</p> <p>(ニ) 職業訓練センターの管理運営能力の強化</p> <p>ナーサイトン職業訓練センターが主体性を持って維持運営するために、第2年次より段階的に運営費や授業料の徴収を行い、本事業実施中3年間で運営能力の強化を進める。ナーサイトン郡教育課は専属の職員を配置し、管理マニュアルにより業務を習得する。</p> <p>(ホ) 駐輪場の設置</p> <p>屋根付き駐輪場を建設・設置し、オートバイの盗難を防ぐとともに、直射日光や降雨によるオートバイへのダメージを防ぎ、訓練生とその家族の経済的負担を軽減する。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>事業終了後の財源は、ビエンチャン職業訓練センターと同様、政府予算（運営費・職員給料）と授業料徴収（教材費）によるが、貧</p>

	<p>困家庭の訓練生には当会から奨学金を付与する。また、生徒が作成したものを商品化して現金収入を得るなど、今後の訓練資材費確保の方法についても検討する。</p> <p>ビエンチャン特別市教育局やビエンチャン職業訓練センターとの連携を取り、カリキュラムの改善や訓練生の受け入れ、起業や就業への支援が継続される。</p>
<p>(5) 期待される成果と成果を測る指標</p>	<p>(イ) 本事業では、1年間で延べ120名(初級レベル)、96名(中級レベル)の訓練生に対して職業訓練が実施でき、裨益効果はその家族にも及ぶ。より多くの女性・青少年へ職業訓練の機会を提供することができ、就業・起業機会も広がり、収入向上効果をもたらす。</p> <p>(ロ) 当会と教育省、ビエンチャン特別市教育局で策定したカリキュラムが地域の実情に即したものに改善される。</p> <p>(ハ) 職業訓練終了後には、初級レベル、中級レベル修了者の70%以上が起業や就業を果たし、進級や就労希望者に対して継続的な支援が行われる。</p> <p>(ニ) 各分野の担当教職員にトレーナー資格を取得させ、経験豊かなトレーナーによって新規トレーナーが育成される。</p> <p>(ホ) 事業実施3年間で、ナーサイトン職業訓練センターの管理運営ができる職員が育成され、訓練生の受け入れやマネジメント、施設の維持管理がナーサイトン教育課で独自にできるようになる。</p>